



☀️	なし
----	----

☀️☁️	旅館・ホテル	新型コロナ第6波により、スポーツ関連の大会・合宿等の中止延期もあり伸びなかった。まん延防止解除後に期待したい。
------	--------	---

☁️	木製品素材生産	スギ・ヒノキともに量、価格とも横ばいの状況であるが、具体的に先が見通せない不安がある。
	製材	原木等の原材料については不足傾向にある。
	製紙(家庭紙)	新型コロナの影響を受け、厳しい状況下、原材料・燃料・資材・薬品等の大幅値上げが断行され、価格転嫁を余儀なくされている。大手家庭紙メーカーの値上げに期待するが……。
	生コンクリート製造	セメントをはじめとする原材料費大幅アップ、軽油の値上げによる輸送コストのアップに対処するため、4月から生コン価格を改定する準備をしている。地区によって改定幅は異なる。
	コンクリート製品	出荷数量は、前年同月比112%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月以降は、増減を繰り返して、令和4年2月分は増加に転じた。
	機械団地	新型コロナ感染の第6波が続く中、原材料の高騰分を売価への転嫁で凌ぎ、収益確保に努めている。団地内の業況は平年並みに戻りつつある。
	刃物製造	コロナ禍の中、何とか前年をクリアできた。しかし、小売販売はかなりの落ち込みである。その落ち込みを海外向けの商品が好調であり、また値上げ前により卸商からの受注が増えているようである。今後はコロナにより先行き不透明。
	船舶製造	生産活動は引き続き高い水準で推移している。新型コロナの影響は少ない。
	珊瑚装飾品製造	2月の取引額は前年同月比50%と、依然として厳しい状況が続いている。末端の消費者による購買力が低調。
中古自動車小売	昨年より高年式の販売台数が伸びてきているものの、高年式車両の玉不足が相場全体の上昇となり、注文車両や展示車両の仕入れが一段と厳しい状況になっている。	
一般土木建築工事	令和4年2月分の公共土木用生コン出荷量は、前月比95.8%、前年同月比109.1%。令和3年4月～令和4年2月累計においては前年同月累計比112.7%の水準。2月の公共工事請負金額は前年同月比で72.3%、前年対比累計では107.9%。令和4年2月末時点の発注者別前年対比累計では、国:102.3%、高知県:114.3%、市町村99.0%となっている。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。	

☁️🌧️	食品団地	2月度は、コロナ感染者の増加と全国的なまん延防止の影響で商況は縮小、悪化動向となり、電気・ガス・ガソリン類、食品原材料及び副資材等全ての値上げが急ピッチで進んでいる。収益の悪化が懸念される状況下となり、今後不安を感じる。現状は観光関係及び飲食店向けの食品、食材の売上が低下、今後は予測しづらいが先行きが不安。
	酒類製造	県内のコロナまん延防止等重点措置による影響が顕著。歓送迎会、花見と需要期への影響を懸念。現在も外食、宴会、イベントの自粛などの影響はある。

☀️	テントシート	コロナ禍でイベント関連事業主力の事業所は、大変な状況。感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況がまだまだ続いている。
☀️	印刷	オミクロンの拡大感染の影響もあり全体に低調。県外需要もイベント中止等で一部悪化。昨対ではほぼ同等の数字だが一昨年対比では大幅ダウン。3月期の需要期に期待したい。
☀️	卸団地	1.景気悪化にコロナ禍が重なり、景気回復は全く感じられない。2.外食・観光業は完全にストップしており、通常でも低調な2月だが今年の2月は特に動きが悪かった。
☀️	青果卸売	新型コロナ感染の煽りを受けギフトの分担が不調である。また、業務、外食は全くダメである。
☀️	生鮮魚介卸売	マグロの入荷は少ないが、高値なので需要の方も少ない。カツオは値段の上がり下がりがあったが、順調に入荷していた。プリの入荷量が増えていた。新型コロナのまん延防止があり、仲卸としては売上に影響している。
☀️	各種小売(土佐市)	コロナ感染者も増えてまん延防止になり、夜は人もおらず、静かで寂しい感じ。昼間もあまり動きはなく、商店も先行き不安で心配している。
☀️	ガソリンスタンド	全国販売価格平均が170円を超え、燃料油価格激変緩和事業が発動されたが、3週で上限の5円に到達し、それ以上の値上げに対する補助はない。値上げを抑える目的であったが、2月中には元売りの値上げは8円に達し、補助金額の5円を差し引いても3円の転嫁不足となっている。ウクライナとロシアの問題によりまだまだ原油高騰の予想となっている。全国的にオミクロンの感染拡大が収まらず、ガソリン価格の高騰もあり販売数量は減るばかりで政府の補助金額見直しを待たばかり。
☀️	電気機械器具小売	全商品平均で前年比97%。昨年度は助成金があり好調だった。エアコン前年比102%、カラーテレビ87%、白物家電94%。
☀️	商店街(安芸市)	阪神タイガースの2軍キャンプが始まり、県外から人の流れが安芸市へきている様子であったが、まん延防止措置が発令されたこともあってか、例年より来場者が少ないように感じた。また、例年のことながら、球場～商店街へ回遊する人は少なく、工夫が必要。県内にまん延防止措置が発令され、飲食店や酒屋へのダメージが大いにあった。まん延防止措置が解除されても、しばらくは影響があると思われる。
☀️	商店街(四万十市)	予定が増えはじめていた各種会合やイベントはドタンパで再度キャンセルの連続となり、担当者達のモチベーションもとぎれそう。飲食店は全体の半分ほどが閉めていたが、県の要請が出ると夜の街はずまりかえった。
☀️	飲食店	既にコロナ禍の前年同月と比べると売上は同程度だが、コロナ禍以前の同月と比較すると6～7割程度。集客、売上の低下が影響している。食料品、包材、燃料代の値上がり、減少した利益をさらに圧迫し業界の景況は悪化。
☀️	電気工事	組合員の施工する電力引き込み線工事は、前年同月比51.4%となった。ほぼ県下全域で減少した。新型コロナの影響は、前月と同様、サプライヤーの生産に支障が生じている。また半導体不足によって部品・製品の調達に大きな影響が生じている。
☀️	一般貨物自動車運送	燃料価格はずっと高値が続いており政府補助金を反映しても大幅な値上げとなった。月末ロシアがウクライナへ軍事侵攻をしたこともあり3月も更に高騰することが予想され、組合員事業者の経営を圧迫するとみられている。組合事業も前年微減となり、売上低下や経費増などコロナの影響が出てきている。

☁️🌧️	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比68.7% 台数:前年比74.3%。まん延防止措置の発令以降、アーケード内は閑散とした状況が続いているが3月25日には高知丸のリニューアルオープンが控えており、期待したいところ。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比133%、全旅クーポンを合わせた売上対比は157%で、前年度総売り上げは若干上回る事ができたが、2019年2月売上と比較した場合はわずか15%足らずの売り上げで、組合員は大変厳しい経営状況が続いており、状況は改善されていない。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比営業収入:129.7%、輸送回数:120.3%、実働率は50.5%。2月に入り22日から新型コロナによるまん延防止等重点措置が実施され、業界にとってますます厳しい状況となった。それに加え、燃料価格の高騰により最悪となっている。

挑戦の数だけ、**保険がある。**

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO **東京海上日動**